

視察報告

【視察場所】広島県廿日市市
【視察者】土井 正純・小田 晃士朗

【地方創生、議会のあり方について】

●視察日：2015/11/13 13：30～17：30

●視察先：広島県廿日市市

説明者：早稲田大学名誉教授/元・三重県知事 北川正恭

麗澤大学地域連携センター客員研究員 前・千葉県流山市議会議員 松野 豊

1、目的

全国の先進的事例を学び、本市へ政策としていかす。

2、概要

【基調講演1】13：30～15：00

テーマ：地方分権から地方創生時代へ

講師：北川正恭

【基調講演2】15：10～15：50

テーマ：議会改革を一步前に進める秘訣

講師：松野豊

【パネルディスカッション】16：00～17：30

テーマ：住民参画の議会改革への取り組み

パネラー：松野豊、大田祐介、高橋みさ子

コメンテーター：北川正恭

コーディネーター：林紀行

3、まとめ

北川氏の講演を聞き

地方分権の歴史や意味を理解し、地方政府としての意識をもって政治（立法）を行わなければならない、そう強く感じた講演であった。

中央と地方の関係性から、地方分権推進法により対等協力の立場となった。しかし、現代もなお中央へ予算を取りに行き、成功することが地方政治となっている。しかしそれではいけない。地方創生元年として、まち・ひと・しごと創生法ができたこのタイミングで地方から市民ひとりひとりが自分の街という意識を持って取り組まなければならない。その代表が議員なのであるから、ここで中央・地方の立ち位置を逆転する、その意識を持って市民と一体となって取り組まなければならない。

非常に強い口調で叱咤激励を受け、改めてカンフル剤をうってもらった、有意義な時間であった。

松野氏の講演を聞き

議会改革を進める秘訣、それはどれだけ真剣に考え取り組むか、要は本気でやるか、である。フランクリン・コヴィーの7つの習慣を軸に、議員自ら主体的に目的を持って行動することが議会改革を進める第一歩であると述べる松野氏。

我々誠志会は開かれる議会を目標に提案をして参りました。しかし、千葉県流山市などの市民に寄り添う形式の議会報告会や、懸賞金の予算を取り行ったパブコメの実例を見ると、本市における議会改革は遅れていると感じる。見られる議会から見たくなる議会を目指し邁進したい。

パネルディスカッションを聞き

自ら汗をかき、主体的に行動することで住民の信頼を得ることが大事であると感じた。福山市議会議員の大田氏はまちおこしのため、ぶどう収穫量一番である地域資源を生かし、ワイン特区の認定、観光スポットになるよう宿泊施設を併設し「やまの宿・西元」として自ら事業を行っている。また廿日市市議会議員の高橋氏は会派報告会を10年間で29回行い、住民の皆様との意見交換を継続的に行われました。

他市議員の実際の取り組みを直接聞き、刺激的であったと同時に、我々誠志会としても市民の皆様と距離を近くし、市政を行わなければならないと改めて認識した。